

ニューズ専修

専修大学ホームページ

https://www.senshu-u.ac.jp/

毎月1回15日発行
発行所
専修大学広報課
〒101-8425
東京都千代田区
神田神保町3-8
☎03-3265-5819(直)

主なニュース

- ③ 沖縄で学生部セミナー 文化や歴史学ぶ
- ④ 創立145周年 鳳祭 11月1日から3日間
- ⑤ 生田キャンパス10号館で花火鑑賞会開催
- ⑥ 目指せ箱根路! 育友会が応援メッセージ
- ⑦ 石巻専修大学 中国・東北電力大を訪問

能登地方での大雨で被災された皆様へ

被災された皆様に心からお見舞い申し上げます。専修大学と石巻専修大学は、被災された学生と保護者の方に対して、安心して学業が継続できるよう支援を行っております。以下の担当窓口にご相談ください。

学生生活課(神田)	TEL 03・3265・6824
学生生活課(生田)	TEL 044・911・1267
大学院事務課(神田)	TEL 03・3265・6568
大学院事務課(生田)	TEL 044・911・1271
法科大学院事務課	TEL 03・3265・6891
石巻専修大学事務課	TEL 0225・22・7712

日高総長と韓国・檀国大学を訪問 松木理事長

日高義博総長と松木健一理事長は8月30、31日、国際交流協定校の韓国・檀国大学を訪問した。檀国大学は1986年に国際交流協定を締結。40年近く活発な学生交流が続いている。

8月30日には檀国大学を訪問し、張漢星理事長、金幸壹渉外担当副学長らの歓迎を受けた。コロナ禍を経て、5年ぶりの再会を喜び、「両大学で学んだ学生たちが日韓のみならず、世界で活躍して



松木理事長、日高総長、張理事長(右から)

いることは大変喜ばしい」と語り合った。また、今後の交流についても活発な意見交換が行われた。両大学の付属ローバル化を見据えて、高校で、高校レベルでの今以上に連携していくことを確認した。

その後、日高総長と松木理事長はキャンパス内にある檀国大学歴史博物館などを見学。檀国大学の創立に関する貴重書や、本学との協定調印式の写真などを見て回った。

31日は、ソウル市内で第11回韓日サイバー法学国際学術大会が開催され、日高総長が「刑法解釈学のあり方と刑事立法論」をテーマに基調講演を行った。

パリオリンピック 原田さん(法4)が5位入賞を報告



今後の活躍を誓う原田さん(右)神田キャンパス

パリオリンピックのボクシング男子57kg級で5位入賞を果たした原田周大さん(法4)が、9月11日、神田キャンパスで本学役員に入賞を報告した。

ボクシング部からの5輪出場は4人目で、5位入賞は過去最高成績。

原田さんは「応援ありがとうございました。メダルには届きませんでした。メダルには届きませんが、本当にいい経験をさせていただきました。

松木理事長は「自分を信じて、ロス五輪に向けて頑張ってください。みんな応援しています」と激励した。

松木健一理事長、日高義博総長ら役員が入賞を祝福。試合の様子や、五輪選手村、開閉式について問われた原田さんは笑顔で答えていた。

松木理事長は「自分を信じて、ロス五輪に向けて頑張ってください。みんな応援しています」と激励した。

菊池さん(平31商)たたえる懸垂幕

フェンシング女子フルーレ団体で銅メダルを獲得した菊池小巻さん(平31商、セガサミーホールディングス)の功績をたたえる懸垂幕が、9月10日、神田・生田両キャンパスに掲げられた。

菊池さんは、日本フェンシング女子で初となるメダル獲得に大きく貢献した。夏季五輪での専大アスリートのメダル獲得は、アテネ大会2004年の野球・黒田博樹さん(平9商)以来20年ぶり。

CMIに参加したカップコーラス部。
ロマンスカーミュージアムで=10月3日



小田急グループCMに カップコーラスが参加

10月から放映されている小田急グループの企業CMに混声合唱団カップコーラス部が参加した。明るく弾むような曲に「大切な誰かを思う」メッセージを込め、CMを観た人々にエールを送っている。

曲のタイトルは「彩り」。「いきものがかり」が楽曲を提供した。小田急は、「沿線の大学に通う学生による合唱で地域との共創を実践していく」としている。歌い手として、カップコーラス部10人のほか、東京農業大、成城大、玉川大の沿線4大学5団体から約50人が参加した。

代表の村松真衣さん(文3)は「前向きな明るい曲で、楽しく歌え

地域とともに 社会貢献活動



小田急グループブランドサイトにCMやメイキング

こまえスポーツフェスタ 8団体が体験教室



大学生の指導でアーチェリーに挑戦

子どもたちにスポーツの魅力や面白さを伝える「こまえスポーツフェスタ2024」が、8月25日、東京都狛江市の市民総合体育館で開催され、専修大学スポーツ研究所

子どもたちにスポーツの魅力や面白さを伝える「こまえスポーツフェスタ2024」が、8月25日、東京都狛江市の市民総合体育館で開催され、専修大学スポーツ研究所

（佐藤満所長）と体育会の学生らが協力した。スポーツ研究所は2023年に狛江市教育委員会と包括協定を締結。昨年に行っていた2回目となるスポーツフェスタでは、



サッカー部員と真剣勝負



サインにこだわる甲斐さん

アーチェリー、サッカー、相撲、卓球、バスケットボール、バレーボール、フェンシング、全学応援団(チアリーダー)の8団体が体験教室を実施した。

参加したのは市内在住の小学生延べ約170人。基本的な動きや用具の使い方などを教わった後、大学生アスリートと一緒に行われた。会場ミの学生らによるミニスポーツコーナーも設けられた。

また、バレーボール日本代表としてパリ五輪を戦ったばかりの甲斐優斗さん(経営3)も参加し、笑顔でサインや写真撮影などに応じた。